

令和3年度 公立諏訪東京理科大学学位記授与式 告辞

本日、ここに学位を授与される皆さん、おめでとうございます。公立諏訪東京理科大学教職員を代表して、心よりお祝いを申し上げます。また、若者の門出を祝うためにご臨席を賜りましたご来賓の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、皆さんがこれから飛び立っていく社会は、急激に変化している社会です。本学も私立大学から公立大学に変化しました。皆さんは、公立化後初の卒業生ですので、この変化の洗礼を最初に経験したわけです。

このように変化が激しい時代、皆さんが社会の第一線で活躍しているであろう20年後の社会はどうなっているのでしょうか？

それを考えるために、過去の時価総額からみた企業の盛衰を見てみたいと思います。

今をときめくグーグル、アップル、今は社名が変わりメタ・プラットフォームズとなっているフェイスブック、アマゾンのいわゆるGAFAMは20年前には小さな企業でした。2005年の時価総額ランキングではベスト10に入っていませんでした。

その10年後、2015年には、GAFAMはベスト10入りしています。

しかもアップルは1位、グーグル（アルファベット）は2位でした。

参考までに、2005年時点のトヨタ自動車の時価総額ランキングを調べて見ると9位であることが分かります。なお、2021年度のトヨタ自動車の時価総額ランキングは43位です。ランキング上位の企業が、製造業からICT関連製品・サービスを扱う企業へと移行していることが見て取れます。

加えて、製造業さえもICT技術を取り入れる方向だと考えています。

自動車産業における自動運転車の開発はその例だと思います。

こうした変化の激しい時代ですので、皆さんが本学で獲得したスキルだけで、社会で永続的に活躍するのは難しいと感じています。

しかし、将来どのようなスキルを必要とするのかを予測し、前もって備えるのは大変難しいことだと思います。

過去においても急激な変化が起きた時期はありました。

イノベーションにより産業革命が起きた時期がそうだと思います。

現在は第四次産業革命の時代と言われています。しかし、初期の産業革命との決定的な違いがあると思います。第四次産業革命では、イノベーションが次々となされ、社会の変化が継続的に起きていていると感じています。今は、インターネットにより、人々が、距離に関係なくつながっています。それも多数の人と。その結果、多くの個人の協力と競争の中から、その集団自体に知能、精神が存在するかのように見える、いわゆる集合知性の状態が発現し、個人の天才をも凌ぐようなイノベーションが次々と生まれていると考えています。これには、入手可能となった多くの情報を、人工知能、AIで処理できるようになったこ

とも影響していると考えています。

結果として、多くのイノベーションにより、社会が急激に変化し続けているのが現代だと思っています。

第四次産業革命を特徴付けているのは、インターネットによる「繋がれた世界」とそこから得られる多量のデータ「ビッグデータ」の AI 処理だと考えています。

蒸気機関に代表される第一次産業革命が筋肉の働きの機械・蒸気機関による代替で象徴されるなら、第四次産業革命は脳の働きの機械・AI による代替で象徴されると思います。

現在、デジタルトランスフォーメーション（DX）が各所で導入されようとしています。新型コロナウイルス感染症の流行がこの動きを加速しています。

平成 30 年度版の情報経済白書は、DX の導入では、まず、従来の社会・経済システムに、AI、IoT などの ICT が導入される。次に社会・経済システムはそれら ICT を活用できるように変革される。さらに ICT の能力を最大限に引き出すことのできる新たな社会・経済システムが誕生する、と予測しています。

このことは、皆さんが社会で活躍するのに必要な技術が急速に変わりつつあることを示唆していると思います。

従って、必要な最新の技術を学び直す、リスキリングが今後ますます重要になると考えています。

実際、リスキリングと生産性は正の相関があると言われていました。

そのことに気づいた一部の国、例えばデンマークでは、各地の地方自治体が主体となる職業訓練学校があり、そこでリスキリングが行われていると言われていました。

そこでのカリキュラムは社会の変化に合わせて毎年のように内容を更新するとのことでした。

ちなみに、デンマークの時間あたりの労働生産性は日本の約 2 倍です。

リスキリングのもう一つの注目すべき効果は格差是正だと思います。

次に述べますように、持続可能な開発目標・SDGs の目標 10「人や国の不平等をなくそう」達成にもリスキリングは有効だと考えています。

2022 年 1 月 5 日の日経新聞によると、最貧層が平均所得に到達するのにかかるのに、日本は 4 世代かかるのに対し、リスキリングが盛んなデンマークは 2 世代とのことでした。

OECD の平均は 4.5 世代とのことですから決して日本が悪いわけではありません。

本学はリスキリングの分野で社会に貢献したいと考えています。

そのため、社会人のリスキリングを目的とした e-learning 講座を無料公開しています。

OB, OG となる皆さんには、ぜひ本学でのリスキリング用の e-learning 講座を活用して社会で長きにわたって活躍していただきたいと考えています。

今後は、これらの講座をさらに発展させる予定です。また、一方的に皆さんに公開講座を提供するだけでなく、皆さんが作成した e-learning 講座も大学から発信できるようにしたいと考えています。ぜひ、OB, OG となられる皆さんにも受講者としてだけでなく、発信

者としても参加していただきたいと願っています。

1960年代に米国の経営学者レオン・メギンソンが、「進化論」で有名なイギリスの生物学者チャールズ・ダーウィンの考えを独自に解釈して論文中に記した、皆さんもご存じの有名な言葉があります。

生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは、変化に最もよく適応したものである。

皆さんが、リスクリングにより、社会の変化に適応し、10年後も、20年後も、継続的に社会でご活躍されることを心より願っています。

本日はおめでとうございます。

令和4年3月18日

公立諏訪東京理科大学学長 小越澄雄